

門川町津波ハザードマップレベル2 (最大想定)

「自助」「共助」「公助」の役割で総合的に進める津波対策

津波避難三原則

- その1 想定にとらわれない
- その2 状況下で最善を尽くす
- その3 率先避難者になる



東日本大震災規模の地震発生時の
通行止区間 L=約6km

津波高・浸水面積の想定

地震規模	マグニチュード9.1
最大津波高	12m
津波到達時間の最遅値	16分
浸水面積	6.9km ²

縮尺 1 : 9,240
0 250 500m

	発表される津波の高さ	とるべき行動	想定される被害
大津波警報 (特別無断に位置付け)	10m超 (10m<高さ)	沿岸部や川沿いにいる人は、高台など安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れなさい。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
津波警報	10m (5m<高さ≦10m) 5m (3m<高さ≦5m)	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	3m (1m<高さ≦3m) 1m (20cm<高さ≦1m)	海の中にいる人は、ただちに潮から上がった。潮岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで潮に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	海の中では人は強い流れに巻き込まれる。小型船舶が転覆する。

最大クラスの津波 (レベル2)

発生頻度は極めて低い(1000年に1回かそれ以下の発生率)ものの、発生すれば甚大な被害をもたらす津波

津波水深想定	高さの目安と危険度	浸水開始時間予測
10.0m以上 20.0m未満	3階建ての建物(高さ3階分程度)が完全に水没してしまいます。	25分~30分
5.0m以上 10.0m未満	2階建ての建物(高さ2階分程度)が完全に水没してしまいます。	20分~25分
2.0m以上 5.0m未満	2階建ての建物(高さ2階分程度)が完全に水没してしまいます。木造家屋が流失する恐れがあります。多くの人が巻き込まれる恐れがあります。	~20分
1.0m以上 2.0m未満	1階建ての建物(高さ1階分程度)が完全に水没してしまいます。津波に巻き込まれる恐れがあります。	
0.3m以上 1.0m未満	胸肩までの水深まで、船ごとが巻き込まれる恐れがあります。乗用車が完全に水没する恐れがあります。	
0.3m未満	膝までの水深まで、体の自由な動きが、水没する恐れがあります。	

【用語の解説】
 (1) 海岸の区分について
 ① 地域海岸 宮崎海岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定の高水範囲などから区分したものです。
 (2) 浸水開始時間について
 ① 海岸線から陸地に津波が到達することが想定される区域において、地震発生直後の浸水深1.0mになるまでの時間

【留意事項】
 ① 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
 ② 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)を表したものです。
 ③ 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に生じた津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
 ④ 浸水域や浸水深は、局所的な地形の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件などの差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
 ⑤ 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではありませんことご注意ください。
 ⑥ 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。 出典:宮崎県

凡例

- 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 医療・その他避難拠点
- 福祉避難所
- 防災行政無線場所
- 災害時ヘリポート
- JR
- 東九州自動車道
- 国道
- 県道
- 警察・駐在所
- 病院
- 郵便局
- ショッピング施設

マップから逃げどきタイミングをみてみましょう

- 避難を始めるころの、津波の到達時間をマップで確認し、**1**分に入ってください。
- 避難先等の津波の到達時間をマップで確認し、**2**分に入ってください。
- 避難先まで実際に移動し、その移動時間を**3**分に入ってください。
- 4**分から**5**分までを**4**分として入力してください。
- 5**分以上の逃げどきタイミング

※少なくとも遅れ始めてからこの時間までに避難を開始していただく必要はありません。時間はお自身の目安です。可能な限り迅速に避難してください。
 ※逃げどきタイミングがマイナスになってしまう場合、このままの避難方法では津波に巻き込まれてしまいます。避難先や避難方法を見直し、もう一度検討しましょう。

私達は 3.11 東日本大震災を忘れない